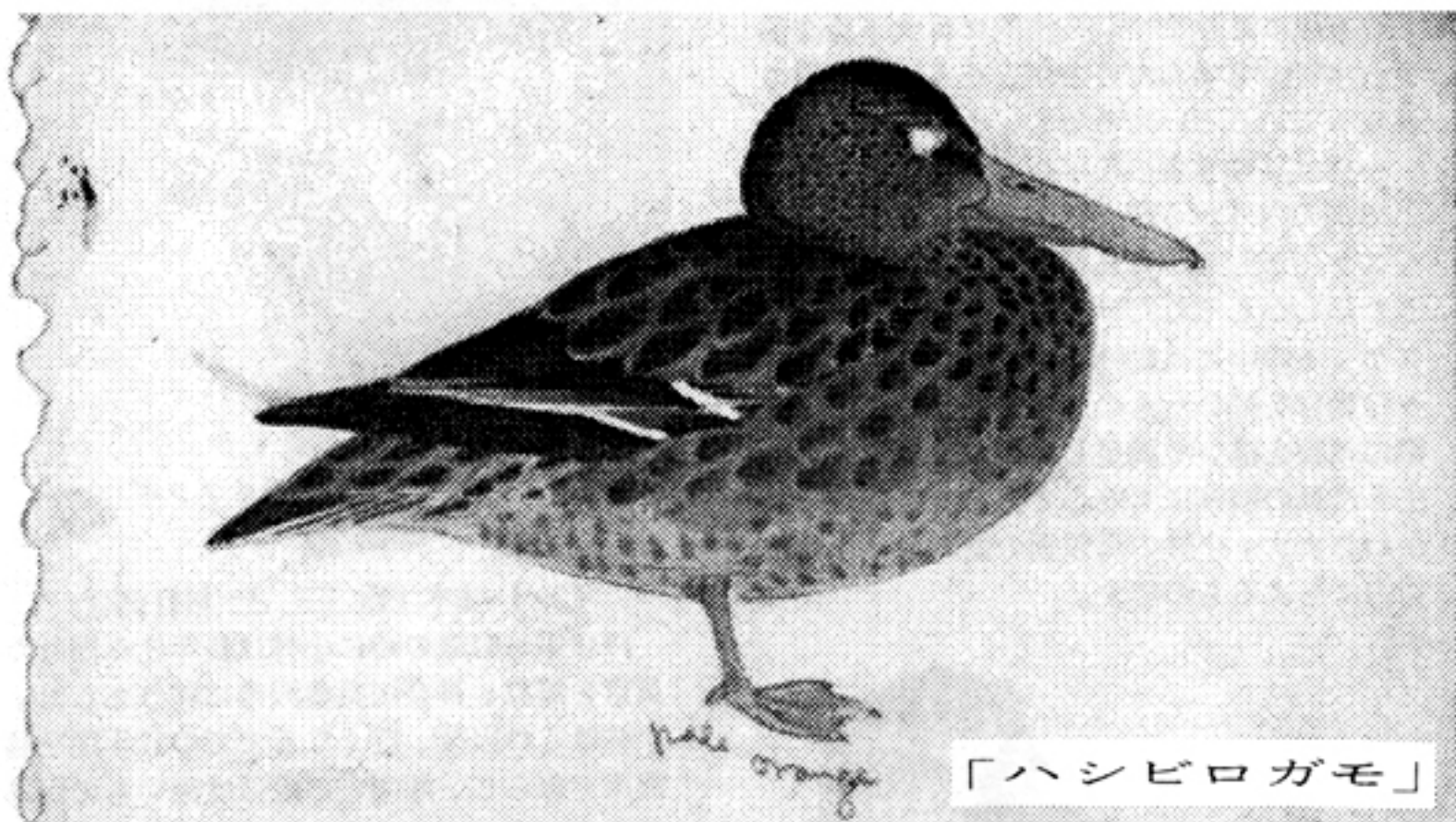




あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'94 5月号



「ハシビロガモ」

春期特別展

鳥類画家：小林重三

5月1日(日)～
29日(日)

■動植物の図鑑を使っている方は多いと思いますが、自分の愛用している図鑑の絵を誰が描いたかまで気にしている方は少ないと思います。

■戦前から昭和30年代まで、日本で刊行された多くの鳥類図鑑に絵を描いた小林重三（こばやししげかず）のことも、今までほとんど注目されることがありませんでした。

■近年、児童文学者の国松俊英氏や日本野鳥の会の園部浩一郎氏の努力下、小林重三の仕事の全貌が明らかになるにつれ、彼が日本の動物学の普及と発展に大きく寄与してきたことが裏付けられてきました。

■この展覧会では、次のような資料を展示し「鳥類画家小林重三」の仕事を紹介します。

- 油彩による鳥類画（4点）
- 水彩による鳥類画（「野鳥歳時記」の原画

10点）

- デッサン・スケッチ（約120点）
- 著作した図鑑類（約50点）
- 「野鳥カレンダー」およびその原図（林野庁発行 12点）
- 「狩猟鳥類掛図」（大正13年発行 5点）
- 愛用の画具（筆など 10点）

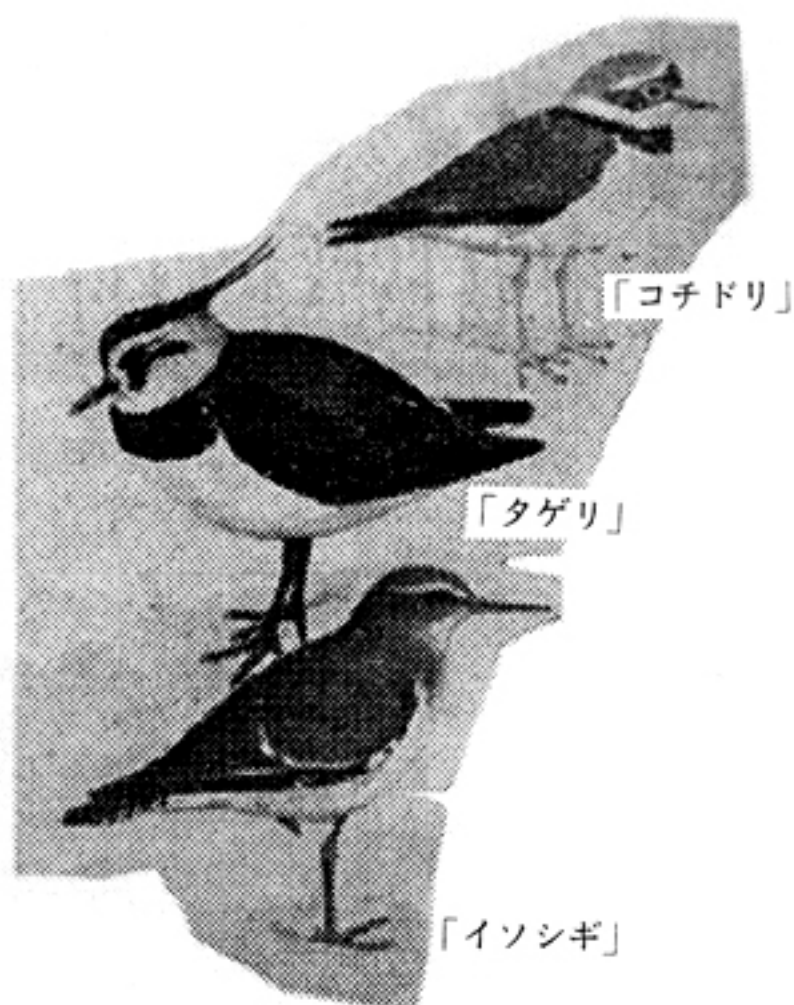
記念行事

- ◆記念講演会 「鳥類画家：小林重三」
日時：5月29日（日）午後1時半～4時
講師：国松俊英氏（児童文学者）
会場：博物館講堂（入場自由）

◎小林重三の描く鳥

小林重三は多くの鳥類図鑑に数えきれないほどの鳥の絵を描いていますが、見なれると一目で小林の描いた絵であることが分かるようになります。小林の描く鳥の特徴は、「羽のふわっとした感じを表現している」とか「鳥が生きている」とか評され、軽やかに空を飛ぶ鳥という動物の雰囲気や上手に表現している点にあります。技法的には大下藤次郎から水彩画を学んだことが、そうした表現に役立っているといえるでしょう。

小林は鳥類学者の松平頼孝や黒田長礼のもとで国の内外から次々に収集される剥製標本をスケッチしながら鳥類画をかきためていました。しかしそれだけでなく、今回展示したスケッチの中には動物園や飼育された鳥の様々な動作を描いたものが多く含まれ、小林が単に剥製を描いて満足していたのではなく、生きた鳥の観察にも熱心であったことがうかがわれます。小林の鳥類画の魅力はそうした努力にもよるものです。



◎小林重三と湘南

1948年、61歳の時に小林は長年住み慣れた東京を離れ、神奈川県藤沢市に移りました。小林はこれ以後、亡くなるまでの27年間を藤沢市で暮らし、湘南との縁には深いものがあります。

1950年には藤沢市美術家協会が結成されましたが、その第1回展覧会に、小林は油彩画3点を出品しています。また、1952年には日展に油彩画「片瀬川」を出品して入選しています。

この頃、小林は鳥類画の仕事が続ける一方で、好んで湘南の風物を油彩に描いています。特に海とそこに働く漁師達の姿が、しばしばキャンバスに描き出されました。繊細な鳥類画とは異なる荒々しいタッチの絵は、小林の別の才能を示しているようです。それは若い頃に画家を志し、水彩で多くの風景画を描いた初心にかえて、絵画の創作を楽しんでいたようにも思えます。



「オオタカ」

◎図録販売中

展示した資料の内、デッサン類を中心に図録を編集しました。

B5版56ページ(カラー4ページ)

頒価：1000円

よろしくご活用下さい。

博物館カレンダー

5月の行事予定		
8	日	春の観察会
11	水	春の観察会
14	土	古文書講読会 漂着物を拾う会
15	日	古代遺跡を探す会
21	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
22	日	相模川の生い立ちを探る会 「岩殿山に登る・大月市」
26	木	裏打ちの会
27	金	星を見る会 「水星と木星」
28	土	古文書講読会 自然観察ゼミナール 「湘南の動物入門」 天体観察会 「水星」
29	日	特別展記念講演会
6月の行事予定		
5	日	自然観察ゼミナール 「湘南の動物入門」 天体観察会 「太陽」
7	火	全館燻蒸のため 休館
11	土	漂着物を拾う会 休館
12	日	古代遺跡を探す会 休館
16	木	全館燻蒸のため 休館
18	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
19	日	相模川の生い立ちを探る会 「桂川の湧水と滝・都留市」
23	木	裏打ちの会
25	土	古文書講読会

5/1~6/5	寄贈品コーナー	「自然部門」
6/17~7/30	寄贈品コーナー	「平塚の空襲展」
5/1~5/29	特別展	「鳥類画家・小林重三」
3/13~5/8	プラネリウム	「ダイナミックな太陽活動」
5/14~6/5	プラネリウム	「ヘルクレスのぼうけん」
6/18~7/17	プラネリウム	「こと座物語」
6/7~6/16	燻蒸のため	休館

◆漂着物を拾う会◆

海岸に打ち上げられた動物・植物・人工物を集めて調べます。

開催日：5月14日（土）

6月11日（土）

時間：9：30～15：00

場所：平塚海岸・博物館<科学教室>

参加：自由

（花水川河口平塚側たもと集合）

備考：雨天時中止

◆星を見る会「水星・木星を見よう」◆

今年の7月に木星に彗星が衝突し、表面の模様に変化が現れるかもしれないといわれています。この機会に表面の模様をじっくり観察しておきましょう。

開催日：5月27日（金）

時間：19：00～20：30

場所：博物館屋上（科学教室集合）

参加：自由

備考：曇・雨天時中止

◆新企画◆自然観察ゼミナール◆募集

第1回テーマ「湘南の動物入門」（全3回）

内容：哺乳類・両生類・爬虫類の観察と見分け方の入門

開催日：5月28日（土）午後2時～4時

★博物館でお話

6月5日（日）午前9時～午後4時

★野外観察「平塚市土屋方面」

7月3日（日）午前8時～午後5時

★野外観察「大山方面」

テキスト代：600円（「湘南の動物」博物館がトブック）

参加：往復ハガキ（1家族1枚）に住所・氏名・電話番号を書いて「自然観察ゼミナール」まで

締切：5月20日（金）

あなたと博物館 19巻2号 通巻207号 ©3000 発行 平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463(33)5111 FAX:0463(31)3949 ※この用紙は再生紙を使用しています